

財政収支(1-8月)

(1) 1-8月の歳入は前年同期比69.6%増、税収は同76.0%増。歳出は前年同期比94.9%増。
 (2) 結果として1-8月の財政収支は3,833.84億リラの赤字(前年同期比1,257.3%増)、プライマリーバランスは167.16億リラの黒字(同91.9%減)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-8月(A)	2023年1-8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	17,683.20	29,987.19	69.6%
税収	14,744.97	25,958.11	76.0%
所得税	2,057.85	3,981.19	93.5%
法人税	3,665.79	4,733.99	29.1%
付加価値税(国内及び輸入)	4,688.57	8,360.27	78.3%
特別消費税	2,410.72	5,127.46	112.7%
その他税収	1,922.04	3,755.20	95.4%
税外収入等	29.38	40.29	37.1%
歳出(b)	17,351.93	33,821.03	94.9%
人件費	3,796.21	8,265.34	117.7%
物品及びサービスの購入	1,269.05	2,320.56	82.9%
経常移転	7,159.82	14,120.53	97.2%
資本支出	1,079.75	1,992.27	84.5%
支払利子(c)	1,739.94	4,001.00	130.0%
その他歳出	2,307.16	3,121.33	35.3%
財政収支(a-b)	331.27	▲3,833.84	▲1257.3%
基礎的財政収支(a-(b-c))	2,071.21	167.16	▲91.9%

経常収支(2023年1-7月)

(1) 2023年1-7月の経常収支は、422.86億ドルの赤字(前年同期は321.78億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-7月の貿易収支(物品)は612.61億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は207.60億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

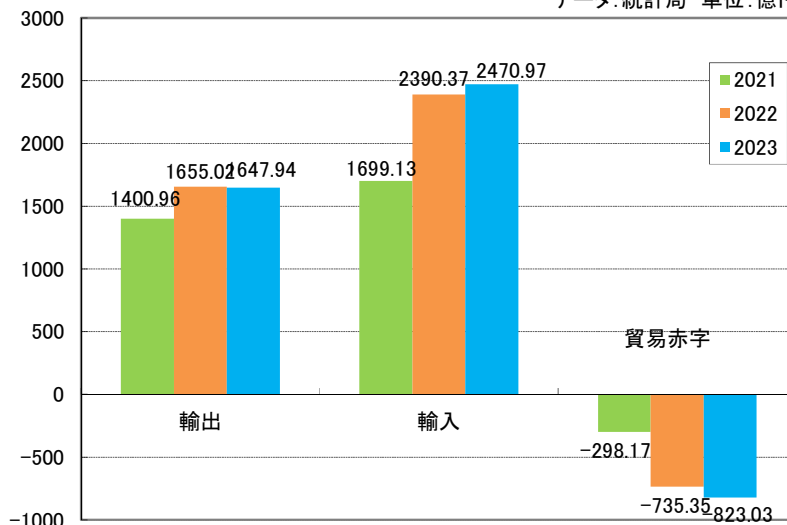
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-7月(A)	2023年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲321.78	▲422.86	▲31.4%
貿易収支(物品)	▲501.65	▲612.61	▲22.1%
サービス収支	241.32	257.30	6.6%
旅行収支	185.23	207.60	12.1%
第1次所得収支	▲54.98	▲68.81	▲25.2%
第2次所得収支	▲6.47	1.26	119.5%
労働者送金	1.30	1.48	13.8%
資本移転等収支	▲0.30	▲1.10	▲266.7%
金融収支	▲160.30	▲431.07	▲168.9%
直接投資	▲47.71	▲25.14	47.3%
証券投資	121.69	▲0.49	▲100.4%
その他投資	▲155.03	▲167.89	▲8.3%
外貨準備	▲79.25	▲237.55	▲199.7%
誤差脱漏	161.78	▲7.11	▲104.4%

貿易収支(1-8月)

(1) 1-8月の輸出額は1,647.94億ドル(前年同期比0.43%減)、輸入額は2,470.97億ドル(同3.37%増)となり、この結果、貿易収支は823.03億ドルの赤字(同11.92%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-8月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.9%(前年同期は41.5%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は28.5%(前年同期は25.5%)となっている。

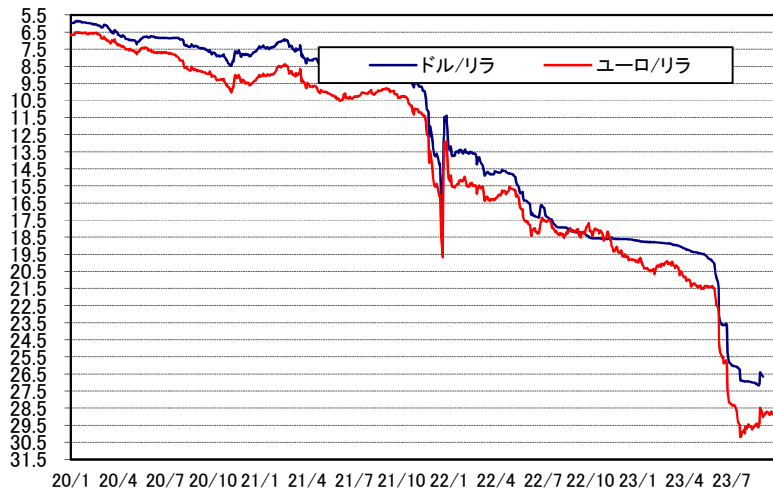
データ:統計局 単位:億ドル



為替(8月)

9月21日、トルコ中央銀行は政策金利を引き上げたが、引き続きリラ安傾向。月末は1ドル=27.37リラ(前月末比2.5%安)、1ユーロ=29.03リラ(同0.06%安)となった。

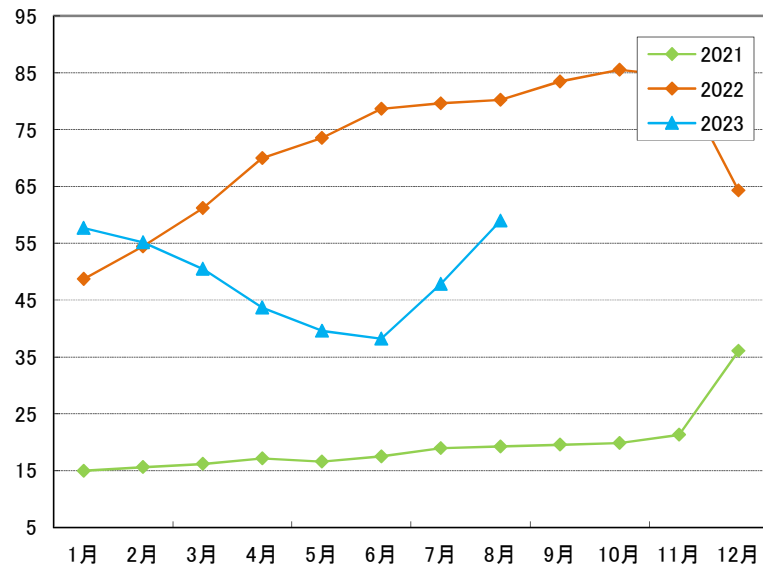
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(8月)

- (1)8月の消費者物価は前年同月比58.94%増、前月比9.09%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比89.31%でホテル及び飲食店が、前月比16.61%で輸送が最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(7/27時点)は前年同月比58%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比49.41%増、前月比5.89%増となった。

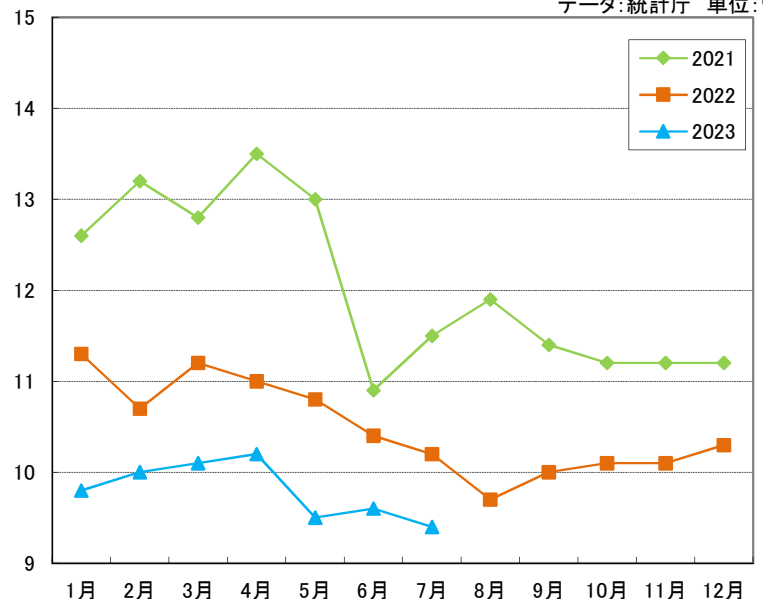
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(7月)

- (1)7月の失業率(季節調整後)は9.4%となり、前月から0.2ポイント減少。
- (2)労働力人口は3,496.2万人、就労者数は3,167.1万人、失業者数は329.1万人。
- (3)男性の失業率は7.6%、女性は12.9%。若年層(15-24歳)の失業率は18.0%となっている。

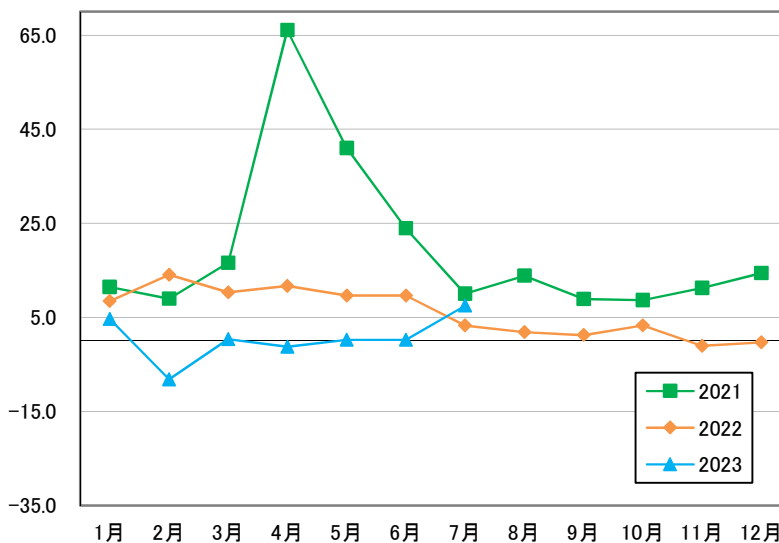
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(7月)

(1)7月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)7.4%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比16.0%増、資本財が同25.6%増、中間財が同3.2%増となった。

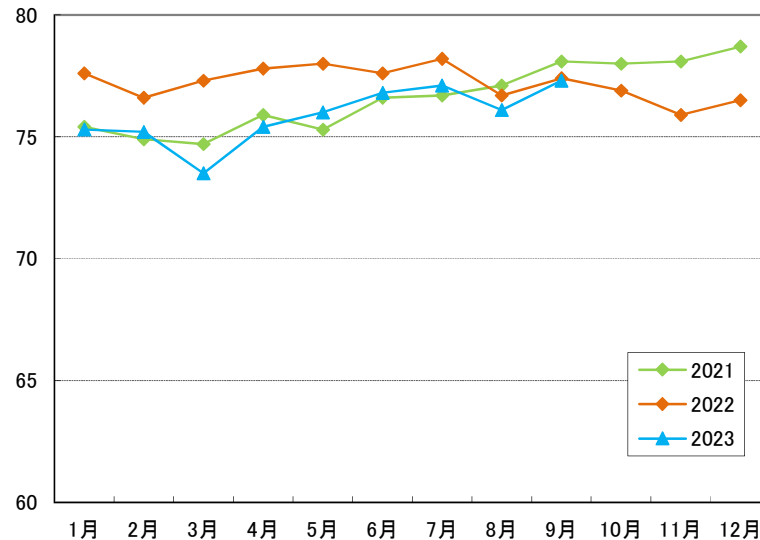
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(9月)

(1)9月の設備稼働率は77.3%となり、前年同月から0.1ポイント減少し、前月から1.2ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、たばこ製造業(83.0%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(64.6%)が最も低い稼働率であった。

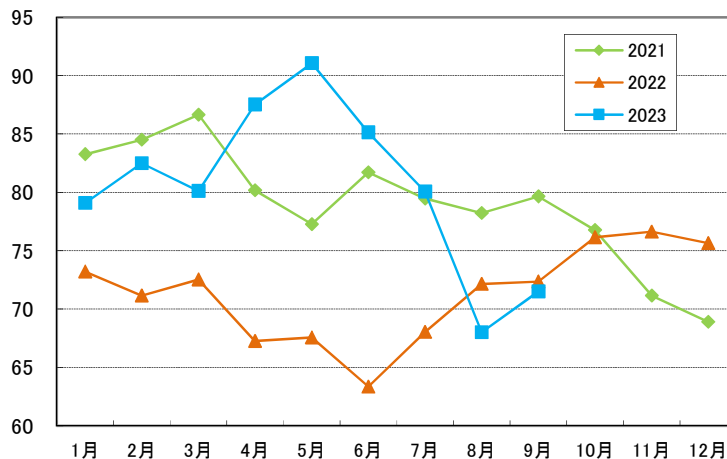
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(9月)

(1)9月の消費者信頼感指数(季節調整値)は71.5ポイントで、前月から3.5ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。

データ:統計庁 単位:ポイント



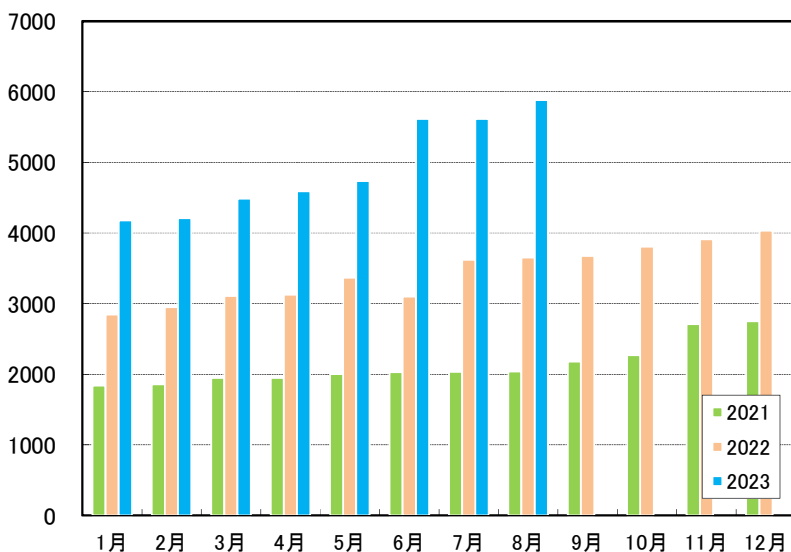
中央政府債務残高(8月)

(1)8月末時点での中央政府債務残高は5兆8,880億リラとなり、前年同月比61.0%増、前月比4.7%増となった。

(2)また、国内債務比率は46.9%、自国通貨債務比率は35.1%(2022年末は34.5%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

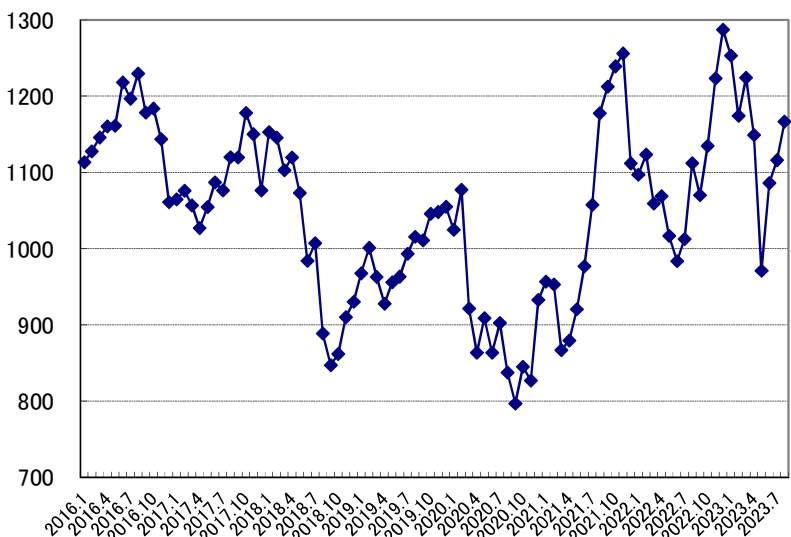


外貨準備高(8月)

(1)8月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,166.47億ドルとなった。

(2)前月から50.24億ドル上昇した。

データ:中銀 単位:億ドル

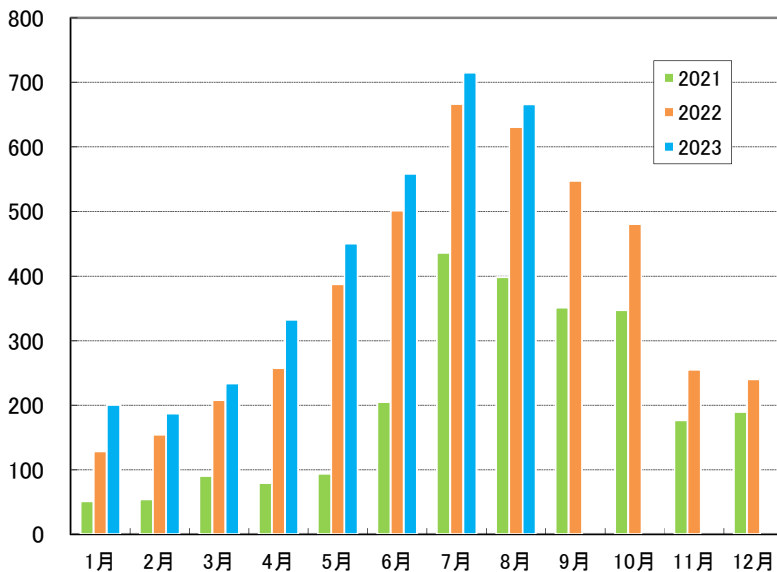


外国人訪問者数(8月)

(1)8月の外国人訪問者数は6,660,700人で、前年同月比5.65%増。日本は8,867人であった(前年同月は3,723人)。

(2)国別ではドイツが最も多く、871,270人で全体の13.08%を占め、以下、ロシア(852,640人)、イギリス(588,448人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

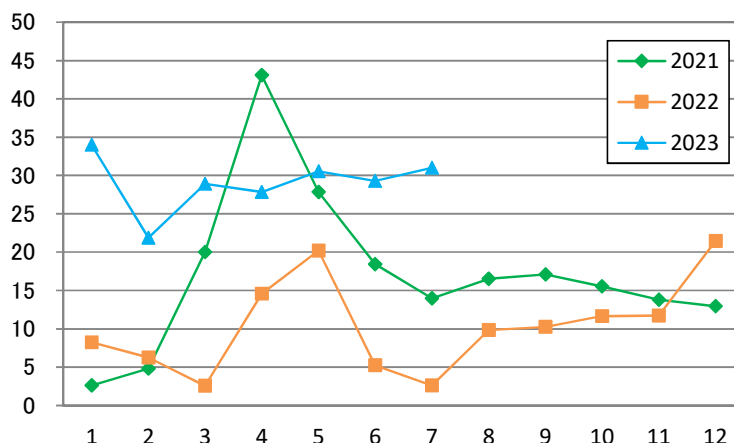


小売売上高(7月)

(1)7月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)31.0%増、前月比(季節及び日数調整後)2.7%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比19.1%増、繊維・衣料が同13.4%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同61.7%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

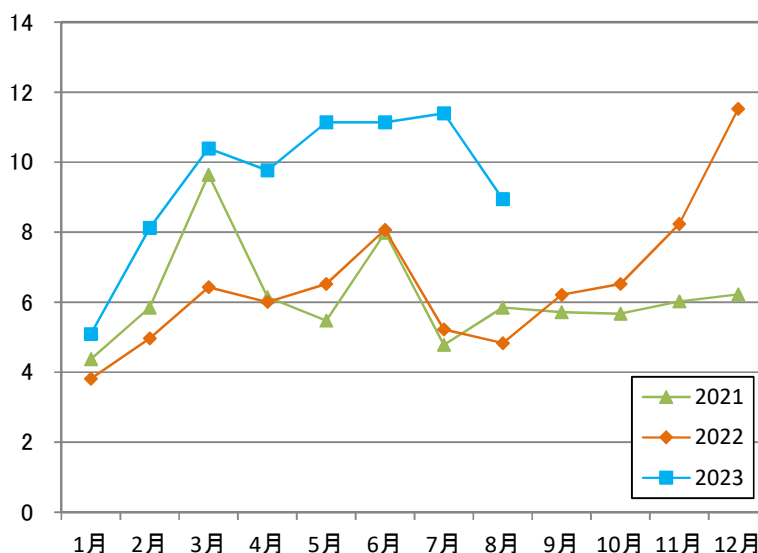


新車販売台数(8月)

(1)8月の新車販売台数は89,454台で前年同月比85.07%増。

(2)8月の内訳は乗用車が69,131台(前年同月比96.2%増)、小型商用車が20,323台(同55.1%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(8月)

(1)8月の住宅販売戸数は122,091戸で前年同月比1.13%減となった。

(2)8月は新築が35,310戸(前年同月比9.5%減)、中古が86,781戸(同2.7%増)。

(3)8月の住宅ローンでの購入は16,375戸(前年同月比26.1%減)、その他が105,716戸(同4.3%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

